

総合科学技術会議 第53回評価専門調査会
議事概要

日 時：平成18年3月23日（木）14：00～15：45

場 所：中央合同庁舎4号館 第4特別会議室（4階）

出席者：柘植会長、阿部議員、薬師寺議員、岸本議員、黒田議員、原山議員
伊澤委員、大石委員、垣添委員、笠見委員、北里委員、
小林委員、中西（準）委員、中西（友）委員、西尾委員、
平澤委員、平野委員、畚野委員

欠席者：庄山議員、黒川議員

大見委員、川合委員、小館委員、土居委員、虫明委員

事務局：清水審議官、川口参事官、川本参事官他

議 事：1. 開 会

2. 評価専門調査会（第52回）議事概要について

3. 第3期科学技術基本計画に基づく分野別推進戦略について（報告事項）

4. 総合科学技術会議が必要と認め指定して行う評価について（議題）

5. 閉 会

（配布資料）

資料1 評価専門調査会（第52回）議事概要（案）

資料2-1 分野別推進戦略の概要について

資料2-2 分野別推進戦略（案）の概要

資料2-3 分野別推進戦略（案）

資料3 「メタンハイドレート開発促進事業」の評価指定の適否について（案）

（机上資料）

○ 国の研究開発評価に関する大綱的指針（平成17年3月29日）

○ 科学技術基本計画（平成13年3月30日）

議事概要：

【柘植会長】定刻になりましたので、ただいまから、評価専門調査会第53回を開催いたします。

なお、前回の当会議の終了後のご案内いたしましたように、本会議終了後も評価システムの改革についての懇談会を設けさせていただきたいと思いますので、引き続きおつき合いいただければと思います。

まず、本日の議事、議事次第に示されていますように、報告事項が1件、それから議題が各1件です。

それでは、配付資料、事務局の方からお願いします。

<事務局から、配付資料について説明が行われた。>

○ 評価専門調査会（第52回）議事録について

平成18年2月24日開催の評価専門調査会（第52回）の議事録について、確認が行われた。

【柘植会長】引き続きまして、第52回の議事録についてです。資料1のとおり各委員のご発言の部分については書面で事前に送付しておりますのでご確認いただきましてご承認いただきたいと思います。なお、今回の議事概要の非公開部分については発言者の名前を伏せております。ご承認いただけますでしょうか。

ありがとうございます。

報告事項：第3期科学技術基本計画に基づく分野別推進戦略について

第3期の科学技術基本計画に基づく分野別推進戦略について、資料2に基づき、事務局から報告が行われた。

【柘植会長】報告事項に移ります。第3期の科学技術基本計画に基づく分野別推進戦略についての報告です。

昨日開催されました総合科学技術会議本会議において第3期科学技術基本計画（案）が審議されまして、閣議に付議されることになりました。これと合わせま

して、特に政策課題対応型の研究開発について、第3期基本計画における選択と集中の一層の徹底を図るため、分野別推進戦略が決定されまして、本日は事務局からこの分野別推進戦略の概要について説明いたします。

<事務局から、資料2-1～2-3に基づき説明が行われた。>

【柘植会長】全体の基本計画は昨年1年かけて、それからその分野別推進戦略はそれに続きまして昨年12月から集中的に相当な有識者の方々のお知恵を絞りまして、やっと昨日本会議で決定となりました。短い時間の説明ですので、この3ヶ月での集中した作業を全部お伝えできていないかもしれません。10分から15分ほど時間をもちまして、ご質問がございましたら承りたいと思いますが、いかがなものでしょうか。

基礎研究というものの位置付けをきちっと押さえた上で、政策課題対応型の研究開発、イノベーションというキーワードがあると思いますが、目標におきましてもかなり第2期以上に国民から見やすい目標の設定、推進方策を具体的に書かれたかと思えますけれども。

【笠見委員】勉強のためにお聞きしておきたいんですけれども。この資料2-1の6ページ、基礎研究と政策課題対応型研究ということが結果としてこういうぐあいに1兆2,000億と1兆7,000億ということに18年度はなったということなのでしょうけれども、何かこの基本的な考え方、バランスが非常に難しくガイドライン、プリンシプルというのは難しいとは思うのですけれども、その基礎研究とそれから政策課題対応型研究に対する考え方が何かあるのであればちょっとお聞きしておきたいということが1つ。

それから、18年度は3兆5,700億円なので、できるだけ25兆円という枠をうまく使って成果を上げていくということが必要なのではないかと思うのですけれども、今後この3兆5,000億円というのがどんな形で年度ごとに、もちろん内容によって違うと思えますけれども、そういう大きな枠組みといいますか、考え方というのか、そういうものがもしあるのならちょっとお聞きしたいと思えます。

【柘植会長】それでは、基本政策の担当、まとめられました阿部議員の方から。

【阿部議員】大変重要なポイントのご質問だと思いますけれども。最初の方は、これは第2期基本計画の延長で、第3期の議論がまだできていないときに18年

度予算を決めていますので、特に改めてこの枠取りみたいなことはやっておりません。ただし、第3期の場合には政策対応型、つまり分野別推進戦略については相当の選択と集中をして投資すべきところは投資するというにしましたので、同時にこの白い枠のところをきちんとやっていかなければいけないということで、これからその機能を、黄色いところは大体終わったのですが、白いところをどう伸ばしていくか、どういうメスを入れていくかというのはこれから至急やりたいと思っております。

それから、おっしゃった25兆円、これも非常に大切なことで、18年度予算は25兆円というのが書かれる前に動き出したものですから、当然その反映は極めて弱いんですけれども、19年度がスタートになりますので、この19年度に25兆円に対するスタートダッシュができるかどうかというのが問われることになりまして、これも大臣も大変張り切っていますので、今度の夏休み、夏に各省が出していくことになりまして、その前に総合科学技術会議として毎年資源配分方針というのを出してあります。それをどう出すかということが問われることになりまして。いずれも4月以降至急対応をきちんとやっていこうということを今、議論を始めたばかりのところであります。

【柘植会長】ほかにいかがなものでしょうか。

【伊澤委員】勉強のために教えていただきたいんですけれども。この6ページの図面で総額3兆5,700億円、この中で定期的な、例えば人件費みたいなものは相当固定的に使われるんだと思いますが、そういった予算全体で固定的にどうしても必要だというお金はどのくらいの割合を持っているのでしょうか。

【阿部議員】これは事務局に答えてもらわないとちょっとわからないのですが。今そこまで資料を持ってきているかどうか。黄色のところの左に1兆4,223億円とありますが、そこに例えば国立大学の運営費交付金なんか入っていますので、その運営費交付金のかなりの部分が人件費であります。それから、教育に関する部分も入っています。その辺の整理をした数字をご覧いただかないとちょっとわからないと思いますが。何かあと機会、本日は無理でしょうから、機会があったときに……

【川口参事官】事務局の方から、ちょっと後日になりますけれども、資料を皆さんの方にお知らせするようにしたいと思います。

【阿部議員】はい。

【笠見委員】今のついでに、競争的研究資金がこの中でどのくらいになっている

のかというのと一緒に教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

議題：総合科学技術会議が必要と認め指定して行う評価について

メタンハイドレート開発促進事業について、総合科学技術会議が指定して評価を行うべきか否かについて、審議の後、資料3の原案どおり決定された。

【柘植会長】次の議題に移りたいと思います。前回の議論におきまして、「メタンハイドレート開発促進事業」については、幾つか配慮すべき点はあるものの、直ちに総合科学技術会議が指定して評価を行う必要性はないとの意見で方向性が一致したかと思えます。

本日は、これまでの審議を踏まえまして、資料3のとおり取りまとめの案を作成いたしましたので、この案につきまして審議を行いまして、本日結論としたいと思いますので、よろしくご審議いただきたいと思います。

それでは、資料3について事務局から説明をお願いします。

<事務局から、資料3に基づき説明が行われた。>

【柘植会長】ただいまの案に対しましてご意見がございましたら承りたいと思いますが、いかがなものでしょうか。

平澤先生、何かご意見がございますでしょうか。

【平澤委員】いえ、特にはありません。この文言でよろしいかと思えます。

【柘植会長】ほかに何かございませんか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、原案どおり結論としたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

本結論につきましては、評価専門調査会のクレジットでとりまとめまして、事務局より本プロジェクトの担当省であります経済産業省へ伝えることといたします。

その他：専門委員の交代について

会長から、新年度に向けて専門委員の交代について説明があった。

【柘植会長】以上で本日予定しておりました議事はすべて終了いたします。なお、本日の配付資料はすべて公開いたしますので、ご承知おきください。

事務局から次回の日程について説明をお願いします。

【川口参事官】次回の評価専門調査会ですが、今回は4月24日の月曜日14時から16時までです。会場はこの4号館11階の第1特別会議室を予定しております。

それから、5月の予定ですけれども、5月26日の金曜日14時から16時まで、この第4特別会議室において開催を予定しております。

スケジュールの確保をお願いいたします。

【柘植会長】それでは、本日はこれをもって閉会したいと思います。ありがとうございました。

—了—